

第 38 回土木計画学研究発表会（秋大会）：2008 年 11 月 1 日～3 日（和歌山大学）  
セッション討議内容の記録

セッション名：防犯とバリアフリー	
日付：11月 2 日（日）曜日、セッション時間： 9：00 ～ 10：30	
司会者名（所属）：秋山 哲男	
討 議 内 容	<p>セッション全体： このセッションは、防犯についてとバリアフリーの 2 つのテーマが発表された。防犯については路上の犯罪発生、特にひったくりの空間的分析と通学路の犯罪発生の空間的分析が行われた。また、交通バリアフリー整備については新法が出されて以後の新しい課題が整理された。</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：(170) 末重 学、松永 千晶、角 知憲 防犯環境設計からみた道路ネットワーク設計と交通規制の効果。 地区交通の居住環境とアクセス問題と、防犯で結論とした「一方通行の出現が多い」「補助幹線が少ない」などと空間設計でどの様に考えるべきか？</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：172 松永 千晶、宮崎 彩、角 知憲 通学の犯人像は一般的犯罪と異なるのではないか？ 通学の犯罪を防ぐのに代替手段（バスなどでの送迎 / 集団登下校）で対応する場合と空間対応の判断基準はどうすべきか？</p>
	<p>（発表番号）発表者名（所属）：171 磯部 友彦 目標年次重点整備地区のランク分け、知的障害者の参加手法、継続的な取り組みのあり方などが議論された。 また、バリアフリーを早期に実現するために促成栽培型の計画も必要ではないかなども議論された。</p>